

伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

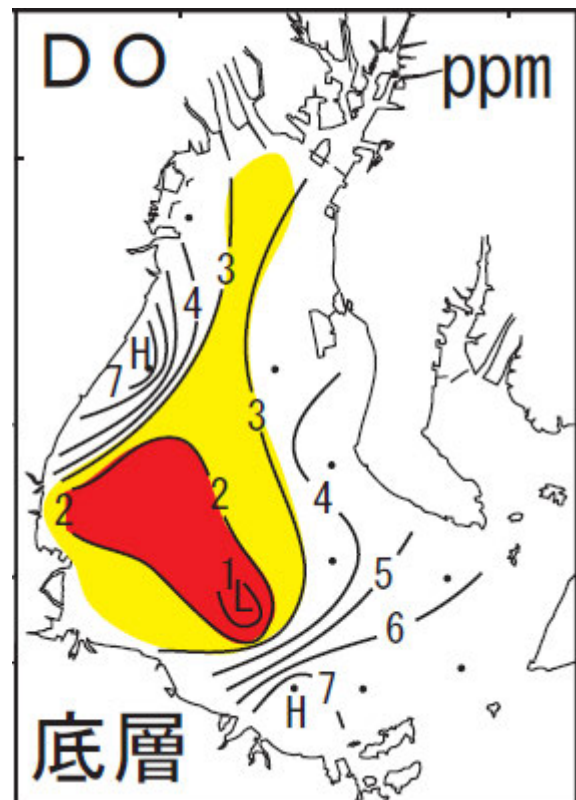
伊勢湾の底層では例年より 1 ヶ月程度早く溶存酸素量の低下が始まり、湾中央部から津市・松阪市沖にかけて 2 ppm 以下の貧酸素水塊が形成されはじめています。

5 月 7 日の調査結果

5 月 7 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 15.7～17.1℃、10m で 14.9～16.1℃、底層で 13.2～15.8℃の範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10m と底層では平年並となっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 7.1～9.1ppm、10m で 5.9～8.9ppm、底層で 0.9～7.6ppm の範囲にあり、表層は平年並からやや低め、10m で平年並、底層ではやや低めから低めであり、湾中央部から津市・松阪市沖にかけて、例年より 1 ヶ月程度早く 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後水温の上昇に伴って、底層の貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図